

研究情報公開

承認番号	24-06
研究課題名	大腿骨近位部骨折後の患者における中殿筋の筋断面積が運動 FIM 利得に及ぼす影響
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	療法部 理学療法士 藤本悠太
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的]</p> <p>大腿骨近位部骨折後の患者の CT で評価した中殿筋の筋断面積と ADL との関連を調査する事を目的としています。</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる方</p> <p>2018 年 1 月から 2023 年 2 月に回復期リハビリテーション病棟に入院した大腿骨近位部骨折後の患者</p> <p>●利用するカルテ情報</p> <p>性別、年齢、身長、体重、BMI、既往歴、CCI、CT、大腿骨近位部骨折の骨折型、手術の種類（骨接合術；人工骨頭置換術）、入院日、退院日、発症から当院入院までの日数、発症日、手術日、入退院時 FIM、入退院時 SMI、入退院時 MNA - SF、エネルギー摂取量、その他、研究を行うにあたり必要なデータの収集を行う。</p> <p>●カルテ情報の利用方法</p> <p>上記のカルテ情報は、大腿骨近位部骨折後の患者を対象に CT で評価した中殿筋の筋断面積と ADL との関連を調査する材料とします。</p> <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	承認日～